

インフルエンザ流行注意報の発令について

感染症発生動向調査における相模原市内のインフルエンザ発生の報告数が、第49週(令和元年12月2日から8日まで)に1定点医療機関当たり11.32人となり、国立感染症研究所が定める「注意報レベル」である10人を超えたことから、インフルエンザ流行注意報を発令したので、お知らせします。

今後、更なる流行の恐れがありますので、感染予防策として「手洗いの習慣化」や「咳エチケットの徹底」をお願いします。

感染予防策については裏面参照

昨シーズンは平成30年12月31日から平成31年1月6日までの期間に「注意報レベル」を超えました。

【感染症発生動向調査について】

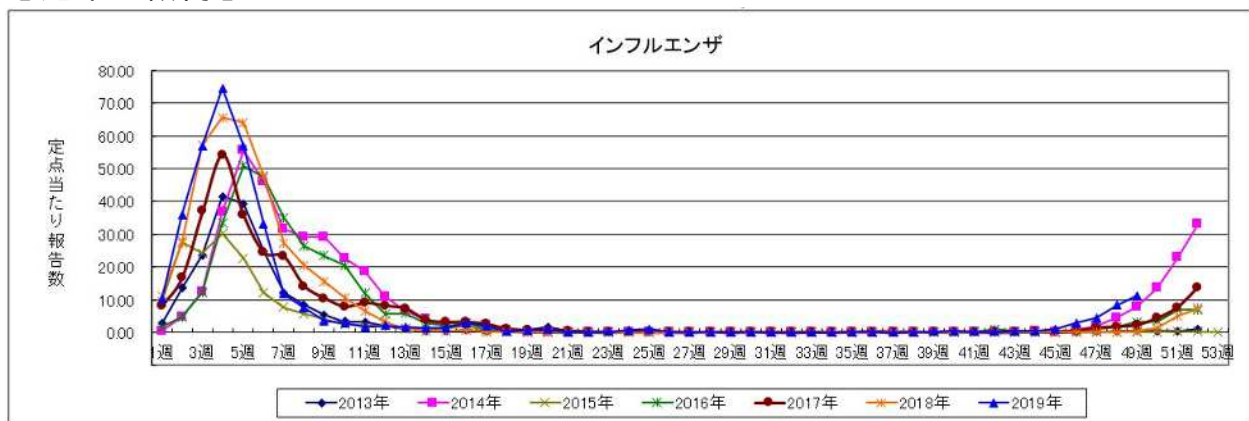
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、定められた医療機関(定点医療機関)における感染症の発生状況を保健所が集計し、国に報告するものです。インフルエンザについては、各定点医療機関が1週間の発生件数を翌週の月曜日に保健所に報告することとなっています。

なお、本市の場合、インフルエンザについては、39か所の定点医療機関(法定の医療機関が23か所、市医師会の協力等による医療機関が16か所)から報告を受けています。

【最近5週間における1定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数】

期 間	第45週 11/4 ~ 11/10	第46週 11/11 ~ 11/17	第47週 11/18 ~ 11/24	第48週 11/25 ~ 12/1	第49週 12/2 ~ 12/8
報告数 (人)	1.00	2.82	4.45	8.34	11.32

【近年の傾向】



【インフルエンザの予防について】

- インフルエンザは、空気中に拡散されたウイルスによって感染しますので、人ごみを避けましょう。
- 手洗いは、感染予防の基本ですので、外から帰った時など、流水・石けんでこまめに手洗いをしましょう。
- 日頃から十分な栄養や休養をとりましょう。
- 室内では加湿器などを使って加湿しましょう。
- インフルエンザワクチンの接種は、感染後に発症する可能性を下げる効果と、インフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があると報告されています。

【咳エチケットとは】

- 咳・くしゃみをする時は、ティッシュで口と鼻を覆いましょう。
- 使用したティッシュはゴミ箱に捨て、その後はよく手を洗いましょう。
- 咳・くしゃみの症状がある方はマスクをしましょう。

[問い合わせ先]

健康福祉局保健所疾病対策課
担当 八鍬(やくわ)、椎橋
電話 042-769-8260(直通)
(ウイルス検出状況について)
健康福祉局保健所衛生研究所
担当 中村
電話 042-769-8348(直通)